雲南病院だより

コロナ情勢

一時収束をしかけていた新型コロナウイルスが再び感染拡大を始め、新規感染者数が前回の第1波を超える状況となり、第2波と言える状況下にあります。

こうした状況の中、7月22日には市内において初めての新型コロナウイルスの感染者が発生しました。

市立病院では、入院患者さん、外来患者さんをお守りするため、これまでさまざまな対策を講じてきましたが、市内感染が発生したことによりさらなる対策を講じました。

そのため、市民の皆さんには大変ご不便をおかけしていますが、主旨をご理解の上ご協力をいただきますようお願いします。

市内での発生に伴い病院が実施している対策

入館規制

通常7時から21時までの開庁時間を7時30分から17時30分までに短縮し病院の出入り口を正面玄関1ヵ所に限定して来院者全員の検温を行っています。

発熱のある人（感染症の疑いのある人）を早期に見付け、専用の診察室で診察し速やかに帰宅いただくことで、発熱者とそうでない人との接触を少なくする目的があります。

正面玄関で検温を実施しています

検温の様子

これ以外の時間は全ての出入り口を閉鎖していますので、救急等で来院される際は時間外入口のインターホンでお知らせください。

感染状況を考慮しながら、当面の間、入館規制を行います。

面会に関する制限

原則、面会を全面的に禁止しています。これは面会者による院内へのウイルスの持ち込みを防止することを目的としています。入院患者さんは健常者と比べ、病原体に対する抵抗力が低い状態にあることが多く、面会の制限は非常に有効な感染予防対策となります。

付き添いや病状説明などで病院から来院をお願いする場合がありますが、病棟の看護師は検温、健康観察、マスク着用、手指消毒などの感染対策を徹底して行っていますので、安心して来院していただけます。

新型コロナウイルス感染症の発生状況に伴い、対策も適宜変更いたしますのでご理解とご協力をお願いします。

市民の皆さんへ

新型コロナウイルスの感染予防には、手洗い、マスクの着用、密閉・密集・密接を避けることが非常に有効です。常日頃からこれらを意識していただくことが大切な人を守ることにつながります。

なお、受診や来院の際、かぜ症状のある方は事前に問い合わせください。

情報発信

当院では新型コロナウイルスの院内感染を防止するため、さまざまな対策を講じています。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いします。

今後の感染状況を鑑み、対策を適宜検討・実施してまいります。その際、最新情報は、市立病院ホームページ、フェイスブックなどで情報発信をします。

新型コロナウイルス感染予防のための面会禁止のお願い

7月22日雲南市内で新型コロナウイルス感染症の患者が確認されたことを受けて、当面の間、

原則 面会禁止 とさせていただきます。

面会を許可させていただく方
① 病院から面会・来院をお願いした方
② 手術や重症で付き添いが必要な方

- 来院者全員の方に検温を実施します。
- 洗濯物等、荷物の受け渡しはスタッフステーションでの対応となります。
- 出入口は以下のみに制限させていただきます。
  ・平日7時半～17時半：正面玄関
  ・上記以外：時間外入口

病院で働く医療のプロフェッショナル

病院では、治療を行う医師や看護師をはじめ、さまざまな職種のスタッフが働いています。

その多くは専門性の高いスキルや知識が必要で、国が認める国家資格を有していなければ就けない職種がほとんどです。日進月歩の現代医療に携わる仕事であるために、常に専門知識を磨く努力をする必要があり、高度な専門技術に加えて、コミュニケーションスキルや人間性なども求められます。また、一人の患者さんに複数の医療スタッフが連携して、治療やケアを行う「チーム医療」にも取り組んでいます。

Interview 調理師の仕事について

～調理師・大島（おおしま） 浩（ひろし）（26年目）～

調理師という職業を選んだきっかけは？

小さい頃から勉強よりも体を動かすことが好きで、小学校の卒業文集には、大人になったら大工さんになりたいと書いたのを覚えています。

両親が共働きだったので、学校の家庭科で習った卵焼きなど、簡単な料理を家族に作ってあげると喜んで食べてくれている姿を見て、人に料理を作る楽しさを覚え、調理師に興味を持っていったのがきっかけです。

普段どんな仕事をしていますか？

入院患者さんの食事を作っています。患者さんによって、高血圧食、糖尿病食、腎臓病食、術後食などの治療食や、離乳食・幼児食も作ります。また最近では、食べ物を飲み込みにくい患者さんのために嚥下（えんげ）食も多く作るようになってきています。

調理師にはいろんな専門分野があるんですか?

一般には、和食・洋食・中華料理・製菓などの専門分野があり、学校給食や社員食堂、ホテル、レストランなどで調理します。中でも病院の調理師は治療を担う食事を作るため、おいしさだけでなく、患者さん一人ひとりに合わせた栄養量や形態にも配慮が必要です。

雲南病院で働いてみての感想は？

雲南病院に来る前は、松江のホテルで働いていました。そのため、病院で初めて調理した際、ホテルとの違いに最初は戸惑いました。病院の食事は、患者さんによって食事の種類や形態、作り方が違うので覚えることがいっぱいで大変でした。

今後、どのような調理師になりたいと思っていますか？

入院患者さんが早く元気になり退院されるまでの間、個々の患者さんに合った食事を提供し続けたいと思っています。また、栄養のある地元の食材を使って、患者さんに喜んでもらえる調理師として頑張っていきたいです。

調理師の仕事のやりがいを教えてください。

調理の現場は基本的に一人ひとりに自分の持ち場があり、それぞれが責任をもって調理し、最終的に患者さん一人の食事が出来上がります。一つの目標に向かって互いに助け合いながら食事を作るときの「チームワーク」がとても好きで、やりがいがあります。また、作った食事を残さず患者さんに食べてもらえた時は、頑張って調理して良かったなと感じます。

心を込めて調理しています

病院紹介

栄養管理科

地域医療　日本一をめざし頑張ります！

当院では、およそ30種類の献立を用意し、１日600～650食を提供しています。

調理師・調理員と管理栄養士が、それぞれの専門性を活かしながら患者さんの栄養管理を行い、治療を支援しています。

栄養管理科では、入院中の皆さんにできるだけ日常と変わらない食事を食べていただきたいと考えています。また、なるべく既製品を使わない手作りの食事や季節を感じてもらえるメニューの提供を心掛けています。

昨年の秋に提供した栗や梨などを使ったメニュー

当院では、リハビリテーション部門が充実しており、言語聴覚士や摂食嚥下認定看護師をはじめ院内のいろいろな職種が連携して、以前であれば食べることは難しいと思われていた方でも、調理方法に配慮することで食べていただけるように取り組んでいます。

例えば、滑らかで均一な食事のミキサー食や、口の中で崩れにくく安全に飲み込めるプリン食などがあります。

「食べることをあきらめない」を合言葉に、これからも患者さんを支えるチームの一員として、栄養管理科一同できる限りの努力を続けていきます。

軟らかく調理したり、滑らかにして飲み込みやすくした食事です

病院の食事は治療の一環です。

おいしく調理するだけでなく、患者さん一人ひとりに合わせた治療食を届けるため、正確な計量も必要となります。

これからも、食事を通して「食べること」と「健康」は深く関係していることを伝えていきたいと思います。

調理の様子

盛りつけの様子

☆出産お祝い膳リニューアルのお知らせ☆

試行を重ね、６月から新メニューになりました！
担当調理師が心を込めて作ります。
出産予定の方、どうぞ楽しみにしていてください！

メイン料理は肉か魚を選択できます

総合診療医が答える

「こんな症状や疑問 持っていませんか？」

第６回：「症状はどこまで様子を見てもいいの？」

このシリーズでは総合診療医が患者さんからいただいた質問をもとに市民の皆さんがお困りの症状や疑問について解説していきたいと思います。

先日、患者さんから受けた相談です。

「よく症状があるときにいつまで様子を見たらいいかわからないんです」

これは結構複雑な問題で、症状の内容によって大きく変わります。

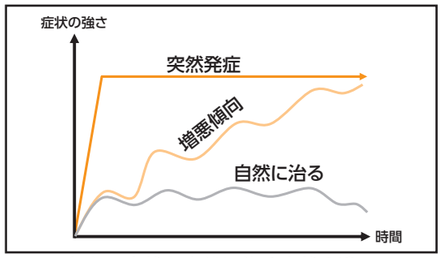
胸痛、呼吸困難、意識障害など危険な病気の可能性が高い場合はすぐに医療機関にかかった方がいいです。

一方で市民の皆さんが感じる症状の多くは軽症だったり、自然に治るものが多いのも確かです。あまり早く医療機関を受診すると、ただ様子を見るだけと言われることがあるかもしれません。その一方で、症状を我慢しすぎて、治療が遅れて入院になったり、治療が長引くことがあります。完璧な症状の対応方法はありません。

総合診療医として提案できる**「医療機関に受診した方がいい」場合**は、

①症状が数日間でどんどん悪くなる場合
②症状が突然起こった場合
③今まで感じたことがない症状

の３つです。



危ない症状と自然に治る症状の違い

①の場合、**感染症などの危険な病気が進行している可能性**があります。数日でどんどん症状が悪くなる場合はかかりつけ医や最寄りの医療機関に連絡し受診のタイミングを聞きましょう。

②に関しては、**血管が詰まったり、破れたりした可能性**が高くなります。すぐに病院へ受診するのが望ましいです。

③は難しいかもしれませんが、市民の皆さんが**「今回の症状はいつもと違うな」と思った時**です。人はよくある症状に関しては鈍感になりますが、「何か変」と思ったときはできるだけ早く医療機関を受診することを勧めます。

常に自身の健康に気を配り、自分自身の症状をしっかり観察することが適切な病院受診のタイミングにつながります。常日頃からかかりつけ医の先生に自身の病気や症状についてできるだけ聞くように心掛けてみてください。

この度、下記の皆さんからご寄附、ご寄贈いただきました。温かいご支援に心よりお礼申し上げます。

寄贈一覧（7月）　（敬称略）

寄　贈　者	寄　贈　品
島根県農業協同組合 雲南地区本部	フェイスシールド
島根県医師会	アルコール消毒液、飲料など
㈱テクノプロジェクト	ウェットクリーニングティッシュ

寄附一覧（7月）

島根県医師会

▲島根県農業協同組合 雲南地区本部